

鎌ケ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成29年度)

施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
【基本目標1】 都市のブランド化の創生及び推進	梨に限らず、ブランド化事業はとても大事であるので、今後も続けていくことが重要である。	ブランドWEB閲覧件数	企画政策室	都市のブランド化事業は、様々な市の魅力を集約して発信することにより、鎌ケ谷市の知名度向上を図る事業となります。 平成30年度は、市ホームページのリニューアルに伴い、鎌ケ谷市の魅力に特化した専用のウェブサイトを作成することにより、市ホームページとの一体化による情報発信力の強化を図ります。
【基本目標1】 観光の振興	観光を一つのツールとして、知名度を上げるのが良いと考える。鎌ケ谷市の観光入込客数は、昨年度より増加しており、今後も継続して増加していくと良い。	観光入込客数	商工振興課	観光ビジョンに掲げているリーディングプロジェクトを中心とした各事業の一層のブラッシュアップを行います。また、各施策の展開にあたっては、観光タウンミーティングや訪日外国人おもてなし講座といった住民や事業者の参画を促す取組みを実施してまいります。
【基本目標1】 快適な公園・緑地環境の整備	①昨年度の貝柄山公園の遊具更新について、子育て世代の母親からは、大変好評であり、とても嬉しいとの意見があった。夏のニコカマフェス終了後にアンケートを実施しているが、公園に関する意見が一番多く、ボール遊びや走って遊べる公園があると良い。 市民が楽しめる公園があることは良いことであり、故郷として遊びに来られる公園があると良い。 ②パークマネジメント事業は、市民に公園の管理を任せるものであり、収入も入り、メリットも多い。実施したい団体もいるので、実施に向けて提案したい。	市民一人当たりの公園面積	公園緑地課	①公園でのボール遊びは、利用者間同士によるトラブルの防止や、近隣居住者、他の公園利用者への迷惑行為防止などの観点から禁止としています。ボール遊びや走って遊ぶことのできる多目的な広場を有する公園が無いということが課題であることは認識しているため、将来的には利用者のエリア分けができる、(仮称)総合運動公園内に多目的広場の整備を行いたいと考えております。 また、市民が楽しみ、故郷として遊びに来られる公園づくりを目指し、施設整備や維持管理を進めてまいります。 ②地域住民との協働による公園の維持管理については、「鎌ケ谷市公園等サポーター制度」により既に実施しているところであり、主に、清掃、草刈等の軽作業や施設の不具合箇所の報告等をしていただいております。 なお、維持管理だけでなく、パークマネジメント事業としての考えにつきましては、公園の特性等も考慮し、調査、研究を進めてまいります。
【基本目標1】 ・市民参加型スポーツイベント等の実施 ・北海道日本ハムファイターズ等におけるスポーツイベントの協力	今年度、20周年事業に係る様々なイベントを実施することが出来た。 日本ハムファイターズは、鎌ケ谷を盛り上げるための一つの手段であると考えており、取組み一つひとつが市のまちづくりに繋がっている。 今後も市と協力して、鎌ケ谷市にずっと住み続けたいと思えるまちにしていけると良い。	・市民参加型スポーツイベント等の主要行事の参加人数 ・北海道日本ハムファイターズ等のスポーツイベント参加人数	文化・スポーツ課	今後も北海道日本ハムファイターズとの連携を強化し、「鎌ケ谷ランフェスタ」「野球教室」「軽スポーツ事業」など、様々な事業に取り組んでまいります。
【基本目標1】 ・情報発信の強化 (市ホームページリニューアル事業)	①ホームページのリニューアルについて、他市ではイベントカレンダーを掲載しているので、リニューアルに併せて実施して欲しい。 市では子育て世代向けのイベントなど、多くのイベントが実施されているが、現在子育て関係のイベントは、ロコミ又は「かまっこ応援団」のみの情報である。鎌ケ谷に住むことを決めたお母さんの声では、「かまっこ応援団」のイベント情報を見て、市に住むことを決めた人もいる。 移住の際、ウェブの情報が一番気になる場所であり、市のホームページを見れば、全てのイベントが把握できるようになるなど、情報を集約して欲しい。 ②情報発信で大切なことは、いかにして見てもらうかが大切である。 リニューアル後、ただ情報を発信しただけでは意味がなく、毎日見たいくなるような情報を載せたり、色んなところにリンクしたりし、検索した時、鎌ケ谷が出てくるようにすることが大事である。 ③情報もただ掲載するのではなく、市ならではの取組みについて、インパクトを付けて宣伝すると良い。	市ホームページ閲覧件数	広報広聴室	①市ホームページのリニューアルにおきまして、使いやすいイベントカレンダーの導入を検討しています。表示方法は直感的に操作方法が理解できる月毎のカレンダー方式とし、各種イベント等のジャンル分けもできる機能を付加し、興味のあるイベント情報が把握しやすい表示となるよう取り組んでまいります。 ②市ホームページのリニューアルでは、CMSすなわちコンテンツ・マネジメント・システムを導入する予定です。これは、ホームページを統合的に管理、保守、更新できるシステムであり、ホームページ作成に関する専門的な知識がなくても、予め用意されたひな形に文章や画像を取り込むことで完了できるものです。リニューアル後は、これまでの広報担当課のみによる更新作業から、各所属によって旬な情報を簡単・迅速に更新することが可能となりますので、情報発信のさらなる充実に向けて取り組んでまいります。 ③市ホームページのリニューアルに合わせて、鎌ケ谷の魅力を紹介するコンテンツを充実させる予定です。現在鎌ケ谷に住む人には、より鎌ケ谷を好きになってもらえるような情報を提供し、ずっと住み続けたいと思っていただけます。また、鎌ケ谷への移住を検討している人などには、鎌ケ谷の魅力を総合的に紹介することで、住んでみたいと思っていただけるようなホームページづくりに取り組んでまいります。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成29年度)

施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
【基本目標2】 子育て支援策の連携及びPR戦略の強化	待機児童の解消のため、保育園を整備しているが、本当に必要な人が利用しているかが疑問である。 市内の幼稚園では、2歳児保育や、夜7～8時まで預かり保育を実施(バス送迎付き)している幼稚園もあるが、知らないお母さんが多い。 そのため、パートで数時間働く場合も、とりあえず保育園に預ける人が多いので、このような場合は、幼稚園でも預けることが可能であることを案内出来たら良い。	—	幼児保育課	幼稚園においても、子育て支援に積極的に取り組まれ、就学前の児童の幼児教育の向上に重要な役割を担っていただいております。市といたしましても、幼稚園に対して、預かり保育や振興費等の補助を充実しており、広報やホームページなどで、幼稚園の役割を引き続きPRしてまいります。
【基本目標2】 妊産婦・支援ニーズの高い妊産婦への支援強化 (プレママ教室及びこんにちは赤ちゃん訪問事業)	子育てに関する連携として、健康増進課と子ども支援課が連携を行う「Welcome Baby School」を実施し、赤ちゃんから小学生まで、きめ細かいサービスを実施している。この事業は、お母さん達にとっても好評である。	・こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問者割合	健康増進課	アンケート調査を行いその結果から運営の内容・実施方法を検討し、平成29年度からプレママ・パパママ教室を一つにし「WelcomeBabySchool」として開始しました。 妊娠期から子育てに対するイメージが持て、新しい家族の誕生を待ち望むことができ、子育て支援の場の活用や地域の仲間づくりをし、子育ての不安や心配を早期に解消できるよう、次年度以降も子ども支援課と連携し、事業を継続し実施してまいります。
【基本目標2】 就学前の子どもに関する教育・保育サービス	病児保育について、子どもは病気の時が一番辛い時なので、その時に子どもを預けることは良くない考える。 仕事の都合上、仕方のないことかもしれないが、何とかお母さんが休みをとれるような環境づくりを進めるなど、市が工夫をし、病児保育を減らす取組みを考えて欲しい。	—	幼児保育課	病児保育事業は、病期中・病気回復期にあり、集団保育が困難な児童について、病院等で一時的に保育を提供する事業であります。多様化するライフスタイル、国の進める一億総活躍社会等、社会環境の変化に対応できる市民ニーズに沿った施策を展開していきます。
【基本目標2】 子育て支援の連携	子育て支援について、学校と横の連携があまりないと感じている。一貫した子ども支援は、赤ちゃんから学校教育までだと思つるので、もっと学校との連携を密にし、事業に取り組んで欲しい。	—	子ども支援課 学校教育課	教育面では、平成4年度より、保育園・幼稚園・小学校等連絡協議会にて、生涯学習体系の中で幼児期と学齢期の指導の一貫性を図り、効果的な教育活動を実践するため、情報交換及び研修の交流を図っております。 今後は、幼稚園教育要領、保育園保育指針、小・中学校学習指導要領等の改訂に伴う移行・実施を受け、学校教育課と幼児保育課で連携し、運営の見直しや活動内容の再検討を進めてまいります。
【基本目標2】 教育関係	自分の住んでいるところが、船橋市との境であり、出来れば教育の分野で隣の市と連携を図ることが出来ると良い。例えば隣の市の中学校へ行けるようするなど、上手く工夫できると良い。	—	学校教育課	市では、各学校ごとに通学区域を設定し、これに基づいて就学すべき学校を指定しています。 通学区域は、通学距離だけでなく、学校規模や地形・道路・鉄道・水路などの状況、地元自治会の区割りなど様々な要素を考慮して決定しております。 学校と地元自治会のつながりも大切であると考えていることから、出来る限り指定された学校への就学をお願いしておりますが、ご事情がある場合には、お話をお聞きし、対応させていただいております。 今後も、本市から市外の学校への就学や、市外から本市の学校への就学については、ご事情によって、関係市の教育委員会と協議のうえ、個別に対応させていただきます。

鎌ケ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成29年度)

施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
<p>【基本目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌ケ谷市の特性に応じた企業立地の促進 起業の促進 勤労者が働きやすい環境づくり 	<p>鎌ケ谷市内で働ける環境ができると良い。そのためにも、企業誘致を進め、様々な企業が参入することで、雇用を増やしていくことが大事であると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 雇用・就労人数 新たに立地した誘致企業の雇用従業員数 創業支援事業申請件数 就職人数 	<p>商工振興課</p>	<p>鎌ケ谷市の特性に応じた企業立地を促進するため、「鎌ケ谷市企業誘致基本計画」に基づき、企業誘致に係る各種取組みを行います。具体的には、平成30年4月1日施行の「鎌ケ谷市企業誘致促進条例」及び「鎌ケ谷市企業誘致促進条例施行規則」に基づき、企業誘致支援制度のPR、企業・地権者訪問等を行い、企業誘致を進め、雇用の拡大に繋げてまいります。</p> <p>雇用創出に向けた取組みとして、創業支援セミナー等を開催し、創業を支援する「創業支援事業」や、新たに市内で事業を開始する個人や企業を対象に、起業に要する経費の一部を補助する「コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業」、商店街の空き店舗を活用して賑わいの創出を図るために、店舗改装費等を補助する「空き店舗活用事業」等を実施してまいります。</p> <p>勤労者が働きやすい環境づくりとして、無料職業紹介所の認知度を高め、就労支援に取り組んでまいります。</p> <p>また、就職支援セミナー(若者、中高年、シニア、子育てお母さん)を開催し、関係部署と連携して就職に導くよう取り組んでまいります。</p>
<p>【基本目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者促進事業 農業団体育成事業 農業青少年クラブ支援事業 	<p>少子高齢化の問題は、農業にも当てはまり、農業を営んでいる現役世代も、年々高齢化している。農家にアンケートを取ったところ、5割の農家が、後継者がいないと回答している。そのため、今後も後継者が安心して農業が続けられるような取組みを進めていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者数 新規就農者数 	<p>農業振興課</p>	<p>平成28年度より実施してきた「梨のインターネット販売」に係る事業を引き続き推進し、鎌ケ谷の梨をはじめとした農産物のブランド化や販路拡大を図ることで、農業経営の安定化を図ってまいります。</p> <p>また、市内の若手農業者によって組織された「鎌ケ谷市農業青少年クラブ」に対して、市は事務局の運営や補助金の交付などを行うことで、今後の地域農業を担っていく若手農業者の支援を行ってまいります。</p>
<p>【基本目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物ブランド化の推進 <p>【基本目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他自治体との資源共有化と連携強化 	<p>物産展として、他県で千葉県の特産品を売り込むことも実施しているので、このような場で、鎌ケ谷市も出店して、知名度向上を図ることで、市に住む人を呼び込むと良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化認定数 	<p>農業振興課 商工振興課</p>	<p>平成28年度より実施している「ふるさと名物商品推進事業」において、羽田空港や東京スカイツリーでの鎌ケ谷の梨PRイベントの開催、北海道日本ハムファイターズを共有資源とする各自治体との連携強化及び各地での観光PRイベントの実施や梨をはじめとする市特産品の販売などを行ってまいりました。今後も、引き続き特産品のブランド化や販路拡大、来訪者獲得に向けた取り組みを行ってまいります。</p>
<p>【基本目標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの利便性向上 	<p>バスのルートが変更となり、よく利用している。おじいちゃんや子供が買い物するのも利用されており、バスが増便したことに、とても感謝している。今後は、市内全体を回れるようにするなど、コミュニティバスを充実してほしい。</p>	<p>市内路線バス、コミュニティバス利用者数</p>	<p>都市政策室</p>	<p>平成28年11月1日からは、土日の運行、運行本数の増便及び遅延対策を行いました。利用者は、60歳以上の方が増えており、今後、高齢化が進む中では、更にこの傾向が進み、利用者数も増えるものと予想されます。</p> <p>このため、道路整備の状況にもよりますが、交通不便地域の解消やバス停のベンチ設置等のサービス向上に向けて調査研究を進めてまいります。</p>
<p>【基本目標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通網の充実(新京成線連続立体交差事業) 	<p>新京成線の高架が完了すれば、市内の踏切が解消され、車の渋滞も減り、市の街づくりも大きく変わってくる。また、踏切の事故もなくなり、安全な運行にも繋がる。全線高架運行はあと2年後であり、今後も市と協力し、力を入れていきたい。</p>	<p>新京成線連続立体交差事業進捗率</p>	<p>道路河川整備課</p>	<p>平成31年度の高架運行開始に向け、事業者である千葉県・新京成電鉄(株)と連携し事業を進めてまいります。また、工事の施工等については、地域のみなさんのご協力を得ながら、関係機関、関係部署と協議調整を行い事業の円滑な進捗を図ってまいります。</p>
<p>【基本目標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯体制の充実強化及び防犯意識の高揚(夜間防犯パトロール事業、防犯サテライト事業) 交通安全に係る施策 	<p>鎌ケ谷市は、犯罪が少なく、治安が良い。また、交通事故の死亡者数もほぼ0人である。このように、他の市と比べて良いところを探して、PR出来ると良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夜間防犯パトロール実施回数 防犯サテライト事業参加者数 	<p>安全対策課 道路河川管理課</p>	<p>夜間防犯パトロールについて、今後も継続して実施するとともに、防犯サテライト事業についても、実施回数や参加人数を増やせるよう防犯協会地域安全部会等において、積極的にアピールしてまいります。</p> <p>また、交通安全の取り組みとして、第10次交通安全計画に基づき着実に施策を実施するとともに、啓発活動の一環として活用している広報・ホームページの中で交通事故発生状況等を周知してまいります。</p>